

友の会だより

No.75

2025.2

茨城県陶芸美術館友の会

展覧会 案内

ティーカップ・メリーゴーラウンド

ヨーロッパ陶磁にみるモダンデザイン100年～岐阜県現代陶芸美術館コレクション

会 期：2025年2月15日(土)～2025年6月22日(日)
主 催：茨城県陶芸美術館
協 力：岐阜県現代陶芸美術館
後 援：笠間市、朝日新聞水戸総局、茨城新聞社、NHK水戸放送局、産経新聞社水戸支局、
東京新聞水戸支局、毎日新聞水戸支局、読売新聞水戸支局、LuckyFM茨城放送
休 館 日：毎週月曜日(ただし、祝日の2月24日、5月5日は開館し、2月25日(火)、5月7日(水)が休館)

本展覧会では19世紀半ばから20世紀半ばまでの約100年間に焦点を当て、岐阜県現代陶芸美術館の国内屈指の近現代西洋陶磁器コレクションから、ティーウェアやコーヒーウェアを中心に室内装飾品などを加えた名品をご紹介します。



▲ユッタ・ジカ
カップ&ソーサー
1901-1902年



▲セーヴル ティーセット
「クラウド・ブルー」
1876年



▲マイセン
貼花鳥飾蓋付カップ&ソーサー
19世紀後期



▲ローゼンブルフ／
ユリアン・コック(デザイン)
蘭文ティーポット1900年

会期中の催事のご案内

*詳細は、チラシや当館ウェブサイト等をご覧ください。お問い合わせください。

- 早春紅茶の会「王侯貴族の愛した紅茶とうつわ」、講師：先崎キヨ子（ティーエキスパート協会会長）
要予約（定員各回30名※抽選）、参加費1,500円（要企画展観覧料）
3月22日(土)午前10時～、午後1時30分～、当館1階多目的ホール
- ワークショップ「My favourite♡ティーカップ」、講師：富田香代子氏（ポーセリンアート講師）
要予約（定員各回20名※抽選）、参加費3,000円（要企画展観覧料）
4月13日(日)午前10時～、午後1時30分～、当館1階多目的ホール
- ギャラリートーク、予約不要、参加費無料（要企画展観覧料）
5月31日(土)午後1時30分～、当館地下1階企画展示室
- 気楽者（ケラモン）落語会 予約不要、参加費無料（要企画展観覧料）
春席2月15日(土)、夏席5月17日(土)ともに午後2時～、当館1階多目的ホール
- 読み聞かせの会 予約不要、参加費無料（要企画展観覧料）
6月14日(土)午後1時30分～、当館地下1階研修室
- つくば美術館土曜講座
4月26日(土)、つくば美術館（問い合わせ：029-856-3711茨城県つくば美術館）
- 茨城県立図書館「茨城県陶芸美術館美術講座」
3月1日(土)午前10時～、茨城県立図書館（問い合わせ：029-221-5569茨城県立図書館）

(当館ウェブサイト)



茨城県陶芸美術館ウェブサイト <https://www.tougei.museum.ibk.ed.jp/>

ポーセレン・レースドールに魅せられて

鳴神 布未代 さん

笠間の市街地にある鳴神布未代さんのレースドール教室を訪ねました。事前にご用意いただいた、たくさんの作品に囲まれながら、お話を伺いました。

ご出身はどちらですか？

福岡県生まれの神奈川県育ちです。

陶芸の道に進まれた経緯についてお聞かせください

ポーセレン・レースドールとの出会いは、今から28年前、小さな1枚のお皿が取り持つ素敵なご縁から始まりました。娘の友達がお土産に持ってきて下さった小さな四角いお皿の中央には、フランス・ロココ期の代表作「ブランコ」の転写紙が焼き付けてあり、とても興味を惹かれました。その友達のおばあ様の作品と知りすぐ連絡を取りました。その方が私の師である近 孝子先生です。かけがえのない出会いになり、現在に至ります。

作品づくりについてお聞かせください

人形の石膏型に泥漿を鑄込む作業から始まりますが、大きくバランスの悪いものは、力のない私にはかなり重労働で、破損する事もあります。作品は素焼きから施釉、彩色を経て完成までに3回から5回焼成します。制作にあたっては必ずイメージを持って始めますが、途中デザイン（衣裳のドレープや装飾）に悩み、1年かかる時もあります。教室では、生徒さんが一生懸命に制作をし、完成したレースドールをご覧になった時の満足気な笑顔を見せていただけるのが私の喜びです。

今後どんなことをやりたいですか

体力がなくなってきているので超特大のレースドール制作に挑戦したいと思います。作品はいつも心を込めて制作しております。どんなかの癒やしになっていただける事を願って、これからも可愛らしいお人形や優雅で繊細なお人形を制作していきたいです。

プロフィール

1997年 近 孝子氏に師事
2007年 アトリエ アウローラ開設
2009年 群炎展 入選
2012年 日本陶芸財団展 入選
2014年 亜細亜現代美術展 奨励賞
2015年 常陽史料館企画展
2017年 京成百貨店にて個展
茨城県陶芸美術館にて教室展開催
その他 個展多数

対談を終えて

たくさんの作品を紹介していただきました。どの作品も大変繊細で美しかったです。ご説明いただいているときの眼差しが、まるで我が子を見るように優しくなっていたことが印象的でした。作品一つ一つに懸ける思いが伝わってきました。これからもかわいらしく、また美しい作品に出会えることが楽しみです。



主催事業実施報告

●呈茶会

11月13日(水、県民の日)に、恒例の呈茶会が永地宗栄社中のご協力により開催されました(下写真左)。笠間産の栗がふんだんに使われた菓子(下写真右)は、この会のために考案されたオリジナル菓子です。この日「陶の栗」と命名され、当呈茶会の参加者のみが味わえる特別な菓子になりました。「おいしかったです。」と感想をお伝えくださった方が多くいらっしゃいました。ご高齢の方から小さなお子様まで楽しんでいただきました。



●研修視察

今年度は、「丹波焼の魅力を探る旅」のテーマで、12月3日(火)～5日(木)の2泊3日の日程で、兵庫・大阪を訪問しました。兵庫(丹波地方)では、兵庫陶芸美術館、丹波古陶館や立杭陶の里を見学し、丹波焼の窯元(清水窯)では窯場なども訪れました。大阪では、東洋陶磁美術館や藤田美術館、ヨドコウ迎賓館(兵庫)などの見学を行いました。丹波焼の理解とともに、会員相互の親睦を深めることができた充実した旅でした。



会員の皆様へのお願い

◆令和7年度友の会会費納入のお知らせ

令和7年度友の会会費の納入をお願いします。昨年度より納入方法が一部変更になっていますのでご注意ください。詳細は別紙をご参照ください。



良い品をそろえてご来店をお待ちしています

友の会特約店のご紹介

アトリエ・フラスカ	
笠間工芸の丘	0296-70-1313
笠間みんげい	0296-72-9280
かつら陶芸	0296-72-6688
ギャラリー桜	0296-72-0803
ギャラリー舞台	0296-73-0700
● 2月15日(土)～3月16日(日)	坂本新マンスリー展示
● 4月1日(火)～4月20日(日)	木工3人展 小山昭彦・堀場清・矢實誠
● 5月24日(土)～6月8日(日)	高橋協子展
笠間焼窯元共販センター	0296-72-5665
きらら館	0296-72-3109
● 1月28日(火)～2月9日(日)	栗原節夫・高橋勝宏 2人展
● 2月11日(火)～2月24日(月)	川田達哉・敦子 2人展
● 2月26日(水)～3月9日(日)	火音陶房 作陶展
● 3月11日(火)～3月23日(日)	矢津田陶房 作陶展
● 3月25日(火)～4月6日(日)	八十島雅樹・八重子 2人展陶雛展
● 4月8日(火)～4月20日(日)	田山健司 陶鳥
● 4月22日(火)～5月6日(火)	浜野陽子・あおのけ屋 2人展
● 5月8日(木)～5月18日(日)	あじさい工房 谷口将海 作陶展
● 5月20日(火)～6月1日(日)	中村明美 作陶展
● 6月3日(火)～6月15日(日)	安藤喜代子 作陶展
● 6月17日(火)～6月29日(日)	西村俊彦 作陶展
向山窯	0296-72-0194

丹野陶房	0296-72-4028
陶芸館	0296-72-6650
東風舎	0296-72-5205
無限堂	0296-72-1695
やまさき陶苑	0296-72-6865
涼	0296-72-0712
ミュージアムショップ(館内)	0296-72-7105
レストラン「風の丘」(館内)	0296-72-0197

各店舗で買物をされる際、会員証を提示していただくと、陶器が10%割引となります。(一部除外品があります。) 笠間工芸の丘は体験のみ対象です。レストラン「風の丘」は飲み物サービスとなります。

友の会からのお知らせ

会員募集

茨城県陶芸美術館友の会では、会員を随時募集しています。陶芸が好き、陶芸についてもっと知りたい、体験をしたい・・・そんなあなたの期待に応えます。

一般会員：年会費3,000円

家族会員(※同居家族2人に限る)：年会費(2人で)5,000円

- 特典1** 常設展が、何度でも無料で観覧できます。
- 特典2** 企画展が年2回まで無料で観覧できます。
- 特典3** 会報の無料配付(年3回)を受けられます。
- 特典4** 特約店において、陶磁器等の購入で割引が受けられます。
- 特典5** 友の会主催の各種事業に参加できます。

お問合せは茨城県陶芸美術館友の会事務局までお願いします。
茨城県陶芸美術館友の会事務局(茨城県陶芸美術館内)
電話 0296-70-0011 FAX 0296-70-0012

編集後記

年が改まり、巳年を迎えました。へびは脱皮を繰り返しながら、ひとまわりふたまわりと成長していくことから、この年は、再生と変化を繰り返しながら柔軟に発展していく年といわれています。今年がみなさんにとってさらなる飛躍の年、充実の年となるようお願いしながら、会報をお届けしたいと思います。

友の会だより No.75

発行：令和7年2月15日
編集・発行：茨城県陶芸美術館友の会
〒309-1611 笠間市笠間2345(茨城県陶芸美術館内)
電話 0296-70-0011 FAX 0296-70-0012
編集委員：小栗 和子 鈴木 充 佐藤 誠